



【第21回全国大会のご案内（最終）】

既にお知らせしておりますように、本年度の全国大会は2022年3月5日（土）～6日（日）にかけてハイブリッド形式にて実施致します。ふるってご参加下さい。

【1日目】3月5日（土）

リアル会場：成蹊大学（武蔵野市吉祥寺北町3丁目3-1）
（吉祥寺駅より徒歩約15分、吉祥寺駅北口バス乗り場1・2番より 関東バス約5分『成蹊学園前』下車）
オンライン会場：ビデオ会議システム「Zoom」

11:00～12:00 理事会
12:30 リアル会場受付開始、Zoom入室開始
13:00～15:00 研究報告・教育実践報告

会場① 研究報告・教育実践報告

- ①「科目「観光ビジネス」導入に向けた高校現場の現状と課題に関する考察：高校教員へのアンケートを手がかりとして」
鈴鹿 剛（四国大学）
宍戸 学（日本大学）
千葉 里美（札幌国際大学）
中村 成宏（静岡県立島田商業高等学校）
- ②「高等学校における「観光教育」と地域との接点の関連性について」
山崎 誠（JTB総合研究所）
仲田 耕太郎（JTB総合研究所）
斎藤 薫（JTB総合研究所）
橋本 惇（JTB総合研究所）
- ③「観光地理学をテーマとした高大連携授業による生徒エージェンシーの発揚」

- 服部 泰（東海大学）
森園 奈央（東海大学）
多田 信哉（聖ヨゼフ学園中学・高等学校）
春谷 麻木（聖ヨゼフ学園中学・高等学校）

- ④「日本のホスピタリティ産業における外国人就労者のキャリア形成について：複線径路等至アプローチ（TEA）による異文化適応のプロセスの観点から」
宮城 貴子（立命館大学大学院）
- ⑤「経済学部ゼミにおける産学連携によるPBL型プロジェクトの実践：ミタイトラベル「Z世代以降の若者の旅行需要の喚起」をテーマとした販売モデル策定」
峯俊 智穂（立命館大学）
万浪 靖司（有限会社マンナミコンサルタント）

会場② 研究報告・教育実践報告

- ①「観光分野の起業家教育の実態：起業家教育の協力事業者の意見から」
崔 瑛（神奈川大学）
- ②「海外の若者目線による千葉県安房地域の魅力発見：台湾の大学生とのオンライン交流を通じて」
石谷 昌司（城西国際大学）
- ③「観光系カリキュラムからみた遠隔授業の可能性：駒沢女子大学、観光文化学類を事例として」
張 景泰（駒沢女子大学）
鮫島 卓（駒沢女子大学）
- ④「ハイブリッド型授業による観光地調査の取組：箱根の温泉宿泊施設調査における対面・オンライン同時授業の教育実践報告」
本間 准（駒沢女子大学）

- 15:00 基調講演・話題提供・シンポジウム Zoom入室開始
- 15:10 開会式 [総合司会：福本 賢太 氏（阪南大学）]
- 15:15～15:55 基調講演
「新型コロナウイルス感染症に対する
観光関係業界への影響と政府の対応」
神村 正巳 氏（観光庁 参事官付
（旅行振興）課長補佐）
- 15:55～16:10 話題提供
「学会アンケート調査結果の報告」
福本 賢太 氏（阪南大学国際観光学部 教授、
学会研究事業委員会）
- 16:20～17:30 シンポジウム
「With/After コロナ時代の
観光ホスピタリティ教育を考える」
[パネリスト]
鈴鹿 剛 氏（四国大学経営情報学部 准教授）
神村 正巳 氏（観光庁 参事官付
（旅行振興）課長補佐）
中井 延美 氏（明海大学ホスピタリティ・
ツーリズム学部 准教授）

峯俊 智穂 氏 (立命館大学経済学部 教授)
[コーディネーター]
宍戸 学 氏 (日本大学国際関係学部 教授、学会長)

【理事会報告】

【2日目】3月6日(日)
リアル会場：成蹊大学
オンライン会場：ビデオ会議システム「Zoom」

09:15 リアル会場受付開始、Zoom 入室開始
09:30～11:00 ワークショップ

- ① 観光と言語
[モデレーター：岩田 聖子 氏 (追手門学院大学)]
② 高大連携・教育実践
[モデレーター：峯俊 智穂 氏 (立命館大学)]
③ 高等学校「観光ビジネス」教育
[モデレーター：鈴鹿 剛 氏 (四国大学)]
11:10～11:40 ワークショップ報告
[司会：福本 賢太 氏 (阪南大学)]
11:40～12:00 臨時総会、閉会式

内容は現段階でのもので、コロナウイルス感染症の拡大などの影響を受けて変更が生じる場合があります。最新のご案内については、学会ウェブサイト (<https://jsthe.org>) などで逐次お知らせします。

- 【参加申込方法】※2022年3月5日(土)正午締め切り(ウェブフォームからの登録)
- 参加費 ※基調講演・話題提供・シンポジウムは非会員の参加も可能です。ふるってご参加ください。
正会員・名誉会員・非会員(一般)：2,000円
準会員・非会員(大学院生・学部生)：1,000円
 - 参加申込(リアル会場での参加、オンライン参加を問わず、下記QRコードより申し込みをお願いします。)

【全国大会参加申し込みフォーム】



【全国大会欠席 正会員向け臨時総会フォーム】



<2021年年度第4回理事会>

日時：2022年1月7日(土)13:00～14:00

場所：オンライン会議システムZoomを用いて実施

出席者：宍戸会長、橋本副会長、藤田副会長、坂本理事、芝木理事、鈴木理事、千葉理事、中井理事、中村理事、難波理事、野口理事、福本理事、古本理事、峯俊理事、岩田幹事、鈴鹿幹事、澁谷幹事、森園幹事

[会長挨拶]
宍戸会長より理事会開催の挨拶がありました。

[報告事項]
議事1. 各委員会報告
・編集委員会より機関紙第15号の校了が伝えられました。
・広報委員会の野口理事よりニューズレターを発行したことが報告されました。
・研究事業委員会の福本理事より、12月実施のアンケート調査が完了したこと、調査結果を3月の全国大会で報告することが説明されました。

[審議事項]
議事1. 第21回全国大会に関する件
まず、今大会は研究事業委員会が実行委員となり、事務局が事務を担当することが説明されました。
福本理事より全国大会の開催案が提示されました。3月5日(土)に、観光庁の神村正巳氏による基調講演「政府の観光政策、観光庁が開催した新型コロナの対応等の検討会報告」、研究事業委員による話題提供「学会アンケート調査結果の報告」、シンポジウム「With/After コロナ時代の観光ホスピタリティ教育を考える」を実施し、シンポジウムは「観光と言語」「高大連携・教育実践」「新科目「観光ビジネス」」からの話題提供がされることになりました。基調講演や話題提供、シンポジウムの時間は研究報告・教育実践報告の件数が確定後決定します。

3月6日(日)は午前中にワークショップとワークショップ報告会を実施します。ワークショップのテーマは、シンポジウムを踏まえ「観光と言語」「高大連携・教育実践」「新科目「観光ビジネス」」とします。

監事の辞任に伴う新たな監事の選出を目的とした臨時総会を3月5日あるいは6日に開催します。

研究報告・教育実践報告において非会員が主となる発表の可否について検討されました。また、現状では正会員・準会員を筆頭著者としなければならないことが確認されました。

特別会員の発表要件について検討されました。特別会員による発表を5件まで認めることが了承されました。

今後、新型コロナウイルスの感染状況により全国大会をオンラインのみでの開催とする場合、その最終判断を全国大会の最終案内を出すタイミングとすることが確認されました。

議事 2. そのほか

宍戸会長より新監事候補の推薦があり、理事会で承認されました。3月の全国大会で臨時総会を開催し、新監事の選出について諮ることになりました。

北海道大学よりアンケート調査への協力依頼が学会にありました。学会の性格や、アンケートへの協力から発生する事象への対応が困難であると判断し、協力を見送ることとなりました。

次回理事会：2022年3月5日（土）11:00～12:00

【研究会報告】

2021年11月28日（日）に、「COVID-19後に求められるニューノーマルな観光教育について、ゼミや総合学習等の指導を通して考える」をテーマに、2021年度第1回研究会をオンライン実施（30名参加）しました。今回の研究会では、これまでの学会における議論を踏まえた上で、コロナ禍の影響が特に強いことが想定される大学でのゼミ、高等学校における総合学習・課題研究といった実践的活動を伴う教育について事例を通じて議論しました。宍戸学氏（日本大学国際学部、学会長）の問題提起・進行の元、矢嶋敏郎氏（日本大学国際学部）より大学におけるゼミ教育の事例、吉川佳子氏（高知県立伊野商業高校）より高等学校における総合学習・課題研究の事例について報告がなされ、その後、ブレイクアウトセッションでの参加者とのグループ討議を行いました。短い時間ではありましたが、コロナ禍における観光ホスピタリティ教育の現状と課題、今後の展望について非常に活発な意見交換がなされました。

【分科会】

本学会では、観光・ホスピタリティ教育分野の理論や実践方法に関する調査・研究事業を促進することを目的とし、会員からの申請に基づいた「分科会」の立ち上げを可能にする制度を設けています。

随時応募を受け付けておりますので、ウェブサイトより規程などを御覧いただき、積極的な応募をお待ちしております。

問い合わせ先：

学会事務局・担当：古本泰之（jimu@jsthe.org）

【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第16号
＜投稿原稿募集のお知らせ＞

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育（英語名：Annals of Tourism & Hospitality Education）』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

第16号の原稿締切日：2022年4月30日（土）

原稿投稿先：投稿申込書1部（ワード）と審査用原稿1部（ワードおよびPDF）にて本学会本部事務局（jimu@jsthe.org）にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍（定期刊行物を除く）を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人 大島知典（阪南大学）

E-Mail：toshima@hannan-u.ac.jp

FAX：072-332-1224（大学代表）

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>